

令和6年度9月補正予算の概要

本年度の一般会計9月補正予算（第4号）は、観光資源を活用した宿泊施設の整備支援など「にぎわいのあるまちづくり」や、困りごとを抱える家庭をより専門的に支援する体制づくり、給食費の高騰分支援など「地域全体でこども・子育てを応援」する取組みに必要な予算を計上しました。

また、大雨により被災した箇所工事など「災害の早期復旧と安全・安心な暮らしを実現」する事業に必要な額を計上するとともに、繰越金の額が確定したため、財政調整基金積立金を計上しました。

その結果、一般会計の補正額は6億8,026万5千円となり、補正後の一般会計予算総額は、補正前に比べ1.8%の伸びとなりました。

1. 予算の規模

（単位：千円）

会 計 別	補 正 前 ①	補 正 額 ②	補 正 後 ③	伸び率(%) ②／①
一 般 会 計	38,603,824	680,265	39,284,089	1.8
特 別 会 計	17,023,665	—	17,023,665	—
企 業 会 計	8,652,296	—	8,652,296	—
合 計	64,279,785	680,265	64,960,050	1.1

【参考】

一般会計予算（9月補正予算）の前年度比

（単位：千円）

年 度	補 正 前 ①	補 正 額 ②	補 正 後 ③	伸 び 率 (%) ②／①
令 和 6 年 度	38,603,824	680,265	39,284,089	1.8
令 和 5 年 度	37,634,244	冒頭分 759,682 追加分 1,537 761,219	38,395,463	2.0
前 年 度 比	102.6%	89.4%	102.3%	—

2. 一般会計補正予算の内訳

(1) 歳出予算の主な事業一覧

(単位：千円)

事業名	補正額	事業の概要
1 にぎわいのあるまちづくり		
紫式部プロジェクト事業	43,000	大河ドラマのPR効果により、ふるさと納税を通じて集まった紫式部プロジェクト事業への全国からの支援の一部を、事業の資金として活用し、全国に本市の魅力を発信します。 事業内容 紫式部プロジェクト推進協議会への負担金
地域交通対策事業 【白山地区自家用有償 旅客運送実証運行】	1,597	白山地区の高齢者などの移動手段を確保するため、自家用有償旅客運送の実証運行を行います。 事業内容 令和7年1月～3月の実証運行（予定） 委託先 サポートしらやま 財 源 県支出金1／2、運賃収入
観光推進事業 【宿泊施設整備支援】	20,000	本市の観光資源を活用した魅力的な宿泊施設の整備を支援することにより、さらなる誘客や滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげます。 事業内容 コンセプトルーム等の特色ある宿泊施設整備を支援 対象件数 1件 補助率 2／3（市1／3、県1／3） 補助上限 20,000千円 財 源 県支出金
駐車場管理事業 【越前たけふ駅東P＆R駐車場 誘導員配置・除雪対策】	13,792	越前たけふ駅東P＆R駐車場の円滑かつ安全な利用を図るため、誘導員の配置や除雪体制を整備します。 事業内容 誘導員配置（2,402千円） 配置場所 越前たけふ駅東P＆R駐車場 第1、第2駐車場、 臨時駐車場（交流広場） 配置人数 10月～3月の土曜日等に2名 年末年始に2名 除雪対策（11,390千円） ダンプトラック等による排雪を併用する除雪 方法に変更 消雪設備整備に向けた詳細設計 財 源 緊急自然災害防止対策事業債
スポーツ大会出場者激励事業 【パリ五輪メダル獲得褒賞金 及び大会出場者激励】	1,208	本市出身の見延選手のパリ五輪銀メダル獲得の栄誉を称え、褒賞金を贈ります。また、全国大会、北信越大会等に出場する選手を応援するため、激励費を支給します。 事業内容 オリンピックメダル獲得褒賞金の支給 全国大会等の激励費の増額

事業名	補正額	事業の概要
2 地域全体でこども・子育てを応援		
児童相談事業 【困りごとを抱える家庭を より専門的に支援】	4,100	家や学校に居場所のないこどもの居場所づくりや適切な親子関係づくりに取り組む事業者の準備を支援し、来年度からの児童相談事業体制の充実・強化を図ります。 事業内容 こどもの居場所づくりを支援（4,000千円） 補助経費 拠点改修工事費 適切な親子関係づくりのための人材育成を支援（100千円） 補助経費 人材養成費用 財 源 国庫1／3、県支出金1／3 【別紙参照】
ちひろのおくりもの事業 創造・チャレンジする 風土づくり事業	2,500	寄附金を活用し、新生児にいわさきちひろ誕生記念カードの交付や、市図書館・市内小中学校でのモノづくり関連図書の充実を図ります。 財源 寄附金10／10
給食費高騰対策特別支援事業	31,087	給食食材費の高騰が続いているため、高騰分を市独自に支援することにより、給食の質を維持します。 対象期間 令和6年9月～7年3月 補助率 給食費の14% 補助単価 幼稚園 39円 小学校 39円 中学校（自校方式） 45円 中学校（スクールランチ） 46.91円 （うち牛乳分6.91円） ※1食当たり
小学校施設営繕事業 【バリアフリー改修工事に係 る実施設計】	7,024	学校施設のバリアフリー化を図るため、エレベーター及び多目的トイレ設置工事の実施設計を行います。 実施箇所 大虫小学校 備考 令和7年度に工事を予定
3 災害の早期復旧と安全・安心な暮らしを実現		
農作物鳥獣害防止対策推進事業 【ドローン導入支援】	2,000	赤外線カメラ付きドローンの導入を支援することにより、熊出没時に速やかな調査を行い、周辺住民の安全確保につなげます。 事業内容 生息状況調査、ドローンの導入等 補助対象 越前市鳥獣対策協議会 財 源 県支出金10／10
農業施設災害復旧事業	50,050	大雨により被災した農地や農業施設を復旧します。 被害状況 法面崩壊、水路の破損等 実施箇所 39箇所（丸岡町地係、他38箇所） 財 源 国庫、分担金、災害復旧事業債 ※全体事業費51,050千円のうち、当初予算に不足する50,050千円を補正
林業施設災害復旧事業	5,224	大雨により被災し走行不能となっている林道や、金華山グリーンランド施設内の崩壊した法面等の林業施設を復旧します。 被害状況 法面崩壊、土砂堆積等 実施箇所 8箇所（曾原町地係、他7箇所） 財 源 災害復旧事業債

事業名	補正額	事業の概要
治山施設災害復旧事業	3,650	大雨により被災した治山施設を復旧します。 被害状況 斜面崩壊等 実施箇所 7箇所（若須町地係、他6箇所） 財 源 分担金、災害復旧事業債
単独道路維持改修事業 【道路冠水等被害対策 排水ポンプ設置】	2,500	今後の秋の台風等に備えて、道路冠水等の被害が想定される市内7箇所に排水ポンプを設置し、市民の生命・財産を守ります。 設置箇所 吉野地区 4箇所 粟田部地区 1箇所 南中山地区 2箇所
道路施設災害復旧事業	22,500	大雨により被災し走行不能となっている道路施設を復旧します。 被害状況 法面崩壊 実施箇所 市道第4157号線（村国山2箇所） 財 源 国庫2／3、災害復旧事業債1／3
4 その他		
財政調整基金事業	467,000	財政基盤強化のために、地方財政法に基づき令和5年度の繰越金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。 令和5年度繰越金：933,311千円

(2) 歳入予算の内訳

(単位：千円)

区 分	補正額	内 訳
地 方 特 例 交 付 金	6,456	地方特例交付金 ※ 交付額の決定 6,456
地 方 交 付 税	112,493	普通交付税 ※ 交付額の決定 112,493
分 担 金 及 び 負 担 金	13,379	農業施設災害復旧事業分担金 12,832 治山施設災害復旧事業分担金 547
国 庫 支 出 金	22,366	子ども・子育て支援交付金 1,366 農業施設災害復旧事業国庫補助金 6,000 道路施設災害復旧費国庫補助金 15,000
県 支 出 金	14,112	集落活性化支援事業県補助金（地域交通） 746 子育て支援県交付金 1,366 農作物鳥獣害防止事業県補助金 2,000 多様な宿泊施設整備支援事業県補助金 10,000
寄 附 金	2,500	保健衛生費寄附金 ※ 個人からの寄附 500 商工費寄附金 ※ 個人からの寄附 2,000
繰 越 金	461,754	繰越金 461,754 【参考】 繰越金総額 933,311 予算計上済額 173,760 9月補正計上額 461,754 未計上額 297,797
諸 収 入	105	運賃収入 105
市 債	47,100	駐車場管理事業債（緊急自然災害防止対策事業債） 9,000 土木施設災害復旧事業債（補助災害復旧事業債） 7,500 農業施設災害復旧事業債（補助災害復旧事業債 2,700） 9,600 （一般単独災害復旧事業債 6,900） 林業施設災害復旧事業債（一般単独災害復旧事業債） 3,300 治山施設災害復旧事業債（一般単独災害復旧事業債） 8,200 臨時財政対策債 ※ 発行可能額の決定 9,500

< 参考 >

(単位：千円)

	令和5年度末 現在高	令和6年度				令和6年度末 現在高見込
		積立額		取崩額		
		予算計上済額	9月補正	予算計上済額	9月補正	
財政調整基金	1,754,224	68	467,000	598,000	0	1,623,292

児童相談事業【困りごとを抱える家庭をより専門的に支援】 ～コンソーシアムによる家庭支援を展開～

(こども未来課)

困りごとを抱える家庭を専門的に支援することにより、市内すべてのこどもたちの健やかな成長を促し、ライフステージに対応した切れ目のない支援を行います。今年度に事業実施体制の準備を行い、来年度に本格実施します。

1. 家や学校以外のこどもの居場所づくり

支援内容：生活習慣の形成、学習支援、
食事や課外活動の提供、
保護者への情報提供・
相談支援

予算額：4,000千円（開設準備費）

※今年度から準備を実施

2. 適切な親子関係をつくる支援

支援内容：こどもとの関わり方を学ぶ講座開催
また、同じ悩みを抱える保護者
同士の交流の場の提供

予算額：100千円（講師養成費）

※今年度から準備を実施

3. 訪問による家事・育児支援

支援内容：家庭が抱える不安や悩みを
傾聴し、家事・子育て等を支援する

※コンソーシアムとは、共通の目的を持つ複数の組織が協力するために結成する共同体
※1、2、3は令和7年度より実施予定、4は拡充を予定しています。
今回の補正予算は事業実施のための準備費用を計上しています。

予算額 4,100千円

財源：国 1,366千円 県 1,366千円

4. 緊急一時的に、こどもを養育

拡充内容：①こども自らが利用を希望
した場合に利用可能に
②親子で入所が可能に

【事業名：児童相談事業】

予算書p13

担当課：こども未来課